

第52回全国高等専門学校体育大会柔道競技実施要項

1. 主催 一般社団法人全国高等専門学校連合会
2. 主管 全国高等専門学校体育大会柔道競技専門部
長岡工業高等専門学校
3. 後援 文部科学省、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人全日本柔道連盟、
新潟県柔道連盟、新潟県、新潟県教育委員会、公益財団法人新潟県体育協会、長岡市、
長岡市教育委員会、公益財団法人長岡市スポーツ協会、長岡市大学体育連盟
4. 大会期日 平成29年8月26日（土）、27日（日）
5. 大会会場 長岡市市民体育館
〒940-0041 新潟県長岡市学校町1丁目2番1号
TEL 0258-34-2700
6. 競技日程

8月26日（土）	11：00～11：50	計量
	12：30～	代表者会議
8月27日（日）	14：00～	開会式
	14：20～	男子団体試合
	団体戦終了後～（50分間）	計量
	8：20～8：40	（特別計量）
8月27日（日）	9：00～	男子個人試合
		女子個人試合
	競技終了後～	閉会式

<特別計量について>

インターンシップ、就職試験、受験等のため、1日目の計量に参加できない者、また、個人戦のみ参加の学生で学生負担を減らす観点から、前泊が必要となる遠方からの参加に限り、開会式への参加を免除とし、特別計量対象者とする。
なお、その際は事前に理由書を開催校へ提出し、許可を得なければならない。

7. 競技種目
 - (1) 団体試合
参加チーム数 各地区代表 計12チーム
(北海道1、東北2、関東信越2、東海北陸2、近畿1、中国1、四国1、九州沖縄1、開催校1)
 - (2) 男子個人試合
参加人数 各地区代表 各階級16名
(北海道1、東北2、関東信越2、東海北陸2、近畿2、中国2、四国2、九州沖縄2、開催校1)
体重区分・60kg級・73kg級・90kg級・90kg超級
 - (3) 女子個人試合
参加人数 各地区代表 各階級3名以内
(北海道、東北、関東信越、東海北陸、近畿、中国、四国、九州沖縄の8地区)

体重区分・48kg級・52kg級・63kg級・無差別級

ただし、選手自身の階級よりも1階級重いクラスに出場することができる。

8. 参加資格 高等専門学校で全日本柔道連盟に登録加入した者
9. 参加制限
- (1) 団体試合
- ① チームの編成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内、合計10名以内とする。
- ② 選手の変更は正当な理由がある場合のみとし、所定(競技申込様式5)の手続きをした上で、代表者会議において、協議の上認める場合がある。
- (2) 個人試合
- ① 選手の変更は原則認めない。ただし、怪我などの理由により事前に出場できないことが明らかな場合は、同地区次点の選手による変更を認めることができる。選手変更の申請期日は、平成29年8月8日(火)とする。
- ② 計量に合格しない者は出場できない。
選手の計量は、試合前日計量とする。但し、前日計量に間に合わない正当な理由が認められれば、試合当日の計量をすることができる。計量は、いずれも、1回の時間帯を選択して行う。
10. 競技規定
- (1) 試合は、「国際柔道連盟試合審判規定」および「全国高等専門学校柔道専競技門部運営申し合わせ事項」によっておこなう。
- (2) 「優勢勝ち」の判定基準
- ア. 団体試合の判定基準は、「技有」または「僅差」以上とする。なお、「僅差」は指導差2とする。
チームの内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。代表戦における判定基準は「技有」または「僅差」以上とし、その延長戦の判定基準は、個人試合に準ずる。
- イ. 個人試合の判定基準は、「技有」以上とする。技における評価が同等の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
延長戦は、技による評価(スコア)が与えられたとき、もしくは、「指導」の累積に差がついたときに終了する。
- (3) 試合時間は、団体試合・個人試合とも4分とする。但し、延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を設けない。
11. 競技方法
- (1) 団体試合
- ① 12チームを4ブロックに分け、予選リーグを行い、各1位の4チームにより決勝トーナメントを行う。
- ② 試合は各チーム5名の点取り試合方式で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。
- ③ リーグ戦の順位の設定は次による。
- (ア) リーグ戦におけるチーム対チームの勝敗は次による。
- a) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- b) a) で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- c) b) で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- d) c) で同等の場合は、引き分けとする。

(イ) リーグ戦の順位は、2勝、1勝1分・1勝1敗・2分・1分1敗・2敗の順とする。

(ウ) (イ) で同等の場合は、リーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。

(エ) (ウ) で勝ち数の同じ場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。

(オ) (エ) で勝ち数の同じ場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを上位とする。

(カ) (オ) で同等の場合は、「僅差」による勝ち数の多いチームを上位とする。

(キ) (カ) で同等の場合は、による負け数の少ないチームを上位とする。

(ク) (キ) で同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。

(ケ) (ク) で同等の場合は、「技有」による負け数の少ないチームを上位とする。

(コ) (ケ) で同等の場合は、「僅差」による負け数の少ないチームを上位とする。

(サ) (コ) で同等の場合は、代表戦を行う。

④ トーナメント戦の順位の設定は次による。

(ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(イ) (ア) で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(ウ) (イ) で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(エ) (ウ) で同等の場合は、「僅差」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(オ) (エ) で同等の場合は、代表戦を行う。

⑤ 代表戦において、両試合者が「同時一本」、「同時反則負け」を得た場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。

⑥ 3位決定戦は行わない。

(2) 個人試合

① 体重別のトーナメント方式で行う。

② 3位決定戦は行わない。

12. 組合せ 別紙組合せ表による。

13. 抽選方法 団体試合は平成29年8月26日（土）に、個人試合は平成29年8月8日（火）に下記抽選方法により、主管団体の責任において決定し、その結果は直ちに各チームに通知する。

(1) 団体試合

① 前年度1位から3位の高専が出場した場合のみシード校として取り扱う。「地域シード制」は取らない。

② 同地区代表が準決勝まで対戦をしないように抽選を行う。なお、同地区校の対戦については事前の専門委員会会議にて抽選方法の確認を行い、その結果を代表者会議にて抽選の前に周知することとする。

(2) 個人試合

① 前年度1位から3位の選手が同階級に出場した場合のみシード選手として取り扱う。「地域シード制」は取らない。

② シード選手が2名の場合、互いに勝ち進んだとき決勝で対戦するようにする。シード選手が3名以上の場合、互いに勝ち進んだとき準決勝で対戦するようにする。但し、上位2名のシード選手が互いに勝ち進んだとき決勝で対戦するようにする。

③ 各地区大会1、2位選手（開催校選手を含む）同士、同一校選手は、原則として決勝戦まで対戦させない抽選を行うこととする。

大会に関する事、組合せ等で運営に支障をきたすことが明らかな場合は、専

門委員会でこれを考慮する場合がある。

14. 表 彰 (1) 団体試合は、第1位のチームに賞状、文部科学大臣杯、全日本柔道連盟杯、メダルを授与し、第2位、第3位チームに賞状、メダルを授与する。
(2) 個人試合は、第1位～第3位の選手に賞状、メダルを授与する。

15. 参加料及び納入方法

団体試合は1チーム12,600円、個人試合(団体選手と重複する場合は不要)は、1名1,800円とする。参加申込と同時に振込口座へ納入すること。なお、既納の参加料は返還しない。

振込口座

金融機関名 大光銀行 中沢支店

口座種別 普通預金

口座番号 28495

口座名 全国. 地区高専体育大会

出納代表 学生課長 米内 治

(フリガナ) ゼンコクチコウセンタイイクタイイ スイトウダノヒヨウ ヨネチ村ム

16. 参加申込 (1) 申込期限 平成29年7月26日(水) 必着
(2) 申込先 第52回全国高等専門学校体育大会柔道競技事務局
長岡工業高等専門学校学生課学生係
〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888
TEL 0258-34-9332
FAX 0258-34-9339
(3) 申込方法 地区大会終了後、競技当番校の確認を受けた上で、所定の参加申込用紙に必要事項を記入の上、簡易書留にて上記事務局宛送付すること。

17. 代表者会議 (1) 日時 平成29年8月26日(土) 12:30
(2) 場所 長岡市市民体育館 小アリーナ
(3) 出席者 監督及び主将、大会役員

18. 開会式及び閉会式

- (1) 開会式 平成29年8月26日(土) 競技会場で行う。
(2) 閉会式 競技終了後、競技会場で行う。

19. 宿 舎 別途通知し斡旋する。

20. その他 (1) 選手は、全日本柔道連盟現行もしくは新規格の柔道衣を着用し、規程のゼッケン(横30±3cm、縦22±3cm)を付けること。
(2) 試合中の負傷については、大会本部で応急処置を施すが、その後の処置は当該校で行うこと。但し、脳振盪・皮膚真菌症(トランズランス)に関しては次のとおりとする。
<脳振盪における扱い>
①大会1ヶ月前に脳振盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

- ②大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること)
- ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は、大会事務局(公財)全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

<皮膚真菌症(トングランス)における扱い>

皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関に於いて、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。疑わしい場合には大会長に申告の上、指示を仰ぐこととする。

- (3) 試合場におけるコーチの振る舞いについては、平成24年4月1日付け全柔連通達事項を厳守すること。
- (4) 健康保険証又はそれに変わるものを持参すること。
- (5) 独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を各学校で持参すること。
- (6) 競技結果について、個人名などをホームページ、報道等に公表して欲しくない者は、学校を通じて競技開催校事務局(gakusei@nagaoka-ct.ac.jp)に申し出ること。事前に申し出のない場合は、公表する。
- (7) 「独立行政法人等の保有する個人情報保護に関する法律」に基づき、大会参加申込書等により取得した個人情報は、大会運営、結果公表等の目的以外には使用しない。